

N8190-173/174/180 Fibre Channel コントローラ ファームウェア(02.11.01)適用手順

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、N8190-173/174/180 Fibre Channel コントローラ ファームウェア(02.11.01)の適用
に関して記載しています。

・対象となる本体装置

- ・Express5800/R120k-1M
- ・Express5800/R120k-2M
- ・Express5800/R110m-1M
- ・Express5800/R120j-1M
- ・Express5800/R120j-2M
- ・Express5800/R120j-1M (2nd-Gen)
- ・Express5800/R120j-2M (2nd-Gen)
- ・iStorage NS500Rm
- ・iStorage NS300Rm

・対象となるFibre Channel コントローラ

- ・N8190-173 Fibre Channel コントローラ(1ch)
- ・N8190-174 Fibre Channel コントローラ(2ch)
- ・N8190-180 Fibre Channel コントローラ(2ch)

・適用後のファームウェアバージョン

- ・02.11.01

【ファームウェアバージョン確認方法】

下記のいずれかの方法でファームウェアバージョンを確認することができます。

<システムユーティリティ(System Utilities)での確認方法>

- 1) POSTで<F9>キーを押してシステムユーティリティ(System Utilities)を起動します。
- 2) 「システム構成(System Configuration)」を選択します。
- 3) 対象のFibre Channel コントローラを選択します。

型番とFibre Channel コントローラの対応は以下の通りです。

N8190-173: HPE SN1610Q 32Gb 1p FC HBA

N8190-174: HPE SN1610Q 32Gb 2p FC HBA

N8190-180: HPE SN1700Q 64Gb 2p FC HBA

- 4) アダプタ情報(Adapter Information)を選択します。
- 5) マルチブートバージョン(Multiboot Version)を確認します。

< iLO Webインターフェイスからの確認方法 >

下記の本体装置に対象のFibre Channel コントローラが実装されている場合は1-1) からの手順でファームウェアバージョンが確認できます。

- Express5800/R120k-1M
- Express5800/R120k-2M
- Express5800/R110m-1M
- iStorage NS500Rm
- iStorage NS300Rm

下記の本体装置に対象のFibre Channel コントローラが実装されている場合は2-1) からの手順でファームウェアバージョンが確認できます。

- Express5800/R120j-1M
- Express5800/R120j-2M
- Express5800/R120j-1M (2nd-Gen)
- Express5800/R120j-2M (2nd-Gen)

1-1) マネージメントLAN経由で接続し、iLO Webインターフェイスにログインします。

1-2) 左のメニューから「ファームウェア(Firmware)」を選択します。

1-3) 表示が更新されたら「ファームウェアインベントリ(Firmware Inventory)」を選択します。

1-4) ファームウェア名(Firmware Name)とファームウェアバージョン(Firmware Version)の一覧が表示されますので対象となるファームウェア名とファームウェアバージョンを確認してください。

型番とファームウェア名の対応は以下の通りです。

N8190-173: HPE SN1610Q 32Gb 1p FC HBA

N8190-174: HPE SN1610Q 32Gb 2p FC HBA

N8190-180: HPE SN1700Q 64Gb 2p FC HBA

- 2-1) マネージメントLAN経由で接続し、iLO Webインターフェイスにログインします。
- 2-2) 左のメニューから「ファームウェア & OSソフトウェア(Firmware & OS Software)」を選択します。
- 2-3) ファームウェア名(Firmware Name)とファームウェアバージョン(Firmware Version)の一覧が表示されますので対象となるファームウェア名とファームウェアバージョンを確認してください。
型番とファームウェア名の対応は以下の通りです。
- N8190-173: HPE SN1610Q 32Gb 1p FC HBA
- N8190-174: HPE SN1610Q 32Gb 2p FC HBA

【適用手順】

下記の本体装置に対象のFibre Channel コントローラが実装されている場合は1-1) からの手順を参照してファームウェアを適用してください。

- Express5800/R120k-1M
- Express5800/R120k-2M
- Express5800/R110m-1M
- iStorage NS500Rm
- iStorage NS300Rm

下記の本体装置に対象のFibre Channel コントローラが実装されている場合は2-1) からの手順を参照してファームウェアを適用してください。

- Express5800/R120j-1M
- Express5800/R120j-2M
- Express5800/R120j-1M (2nd-Gen)
- Express5800/R120j-2M (2nd-Gen)

- 1-1) 対象のFibre Channel コントローラが実装された本体装置の電源をON、もしくは再起動をおこない、POST中に<F9>キーを押して、「システムユーティリティ(System Utilities)」を立ち上げた状態にします。
- 1-2) FC_Q_021101.zipファイルを展開して、“mh021101.upd_header.pldm.fwpkg”ファイルを管理用端末の任意のフォルダにコピーします。
- 1-3) 管理用端末から対象の本体装置にマネージメントLAN経由で接続し、iLO Webインターフェイスにログインします。
- 1-4) iLO Webインターフェイスの左メニューから「ファームウェア(Firmware)」を選択します。
- 1-5) メインの表示が更新されたら「ファームウェアインベントリ(Firmware Inventory)」を選択します。
- 1-6) 右上の「ファームウェアのアップデート (Update Firmware)」を選択します。
- 1-7) 「ファームウェアのアップデート(Update Firmware)」ウインドウが表示されます。「ファイルロケーション(File Location)」のチェックを「ローカルファイル(Local file)」に入れた状態で、「ローカルファイルパス(Local File Path)」欄の「browse」を選択して、1-2)でコピーしたファイルを選択します。
- 1-8) 「TPMオーバーライドの確認(Confirm TPM override)」にチェックを入れて「アップロード(Upload)」ボタンを押します。
- 1-9) アップデートが進行しますので、「完了 ホストサーバーを再起動して、変更を有効にします。(Completed. Restart the host server for the changes to take effect.)」と表示されるまで待ちます。
- 1-10) 「完了 ホストサーバーを再起動して、変更を有効にします。(Completed. Restart the host server for the changes to take effect.)」と表示されたら、iLO Webインターフェイスの左メニューから「ホスト(Host)」を選択します。
- 1-11) メインの表示が更新されたら「電源制御(Power Controls)」、「リセット(Reset)」の順に選択し、確認のウインドウが開いたら「リセットの確認(Confirm Reset)」を選択し、本体装置を再起動してファームウェアの更新を有効にします。
- 1-12) 【ファームウェアバージョン確認方法】を参照してマルチブートバージョンもしくはファームウェアバージョンが「02.11.01」となっていることを確認してください。

- 2-1) 対象のFibre Channel コントローラが実装された本体装置の電源をON、もしくは再起動をおこない、POST中に<F9>キーを押して、「システムユーティリティ(System Utilities)」を立ち上げた状態にします。
- 2-2) FC_Q_021101.zipファイルを展開して、“mh021101.upd_header.pldm.fwpkg”ファイルを管理用端末の任意のフォルダにコピーします。
- 2-3) 管理用端末から対象の本体装置にマネジメントLAN経由で接続し、iLO Webインターフェイスにログインします。
- 2-4) iLO Webインターフェイスの左メニューから「ファームウェア & OSソフトウェア(Firmware & OS Software)」を選択します。
- 2-5) 表示が更新されたら右メニューの「ファームウェアのアップデート (Update Firmware) 」を選択します。
- 2-6) 「ファームウェアのフラッシュ(Flash Firmware)」メニューが表示されます。「ファイル位置(File Location)」のチェックを「ローカルファイル(Local file)」に入れた状態で、「ローカルファイル(Local File)」欄の「ファイルを選択(browse)」を選択して、2-2)でコピーしたファイルを選択します。
- 2-7) 「TPMオーバーライドの確認(Confirm TPM override)」にチェックを入れて「フラッシュ(Flash)」ボタンを押します。
- 2-8) 確認のウインドウが開きますので問題がなければ「OK」ボタンを押します。
- 2-9) アップデートが進行しますので、iLO Webインターフェイスの上部に「完了(Completed)」と表示されるまで待ちます。
- 2-10) 「完了(Completed)」と表示されたら、iLO Webインターフェイスの左メニューから「電力 & 温度(Power & Thermal)」を選択します。
- 2-11) メインの表示が更新されたら「仮想電源ボタン(Virtual Power Button)」メニューの「リセット(Reset)」ボタンを押します。
確認のウインドウが開いたら「OK」ボタンを押し、本体装置を再起動してファームウェアの更新を有効にします。
- 2-12) 【ファームウェアバージョン確認方法】を参照してマルチブートバージョンもしくはファームウェアバージョンが「02.11.01」となっていることを確認してください。